

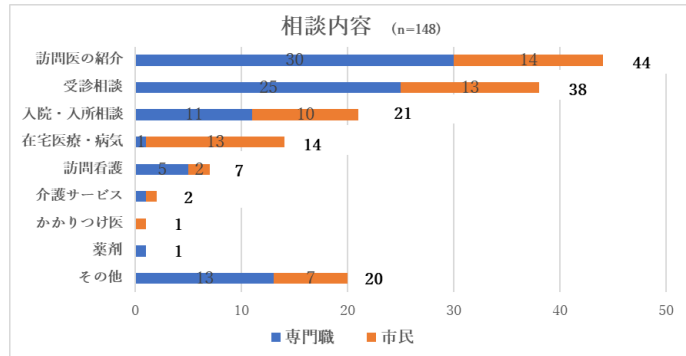
すみれ通信 5月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第131号)

令和7年度在宅医療支援センター活動報告 ②

令和7年度からは関係機関に加え市民からの相談を開始し、相談件数は148件(関係機関から87件、市民から61件)でした。詳細は以下のとおりです。



【市民からの相談状況】

(相談対象者の年齢区分) 相談実件数 59

年齢	20歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上	計
件数	3	1	0	5	5	15	18	12	59

(相談者の間柄区分) 相談延件数 61

間柄	娘	本人	妻	夫	嫁	母	息子	知人他	計
件数	18	12	6	6	5	4	4	6	61

【市民公開講座(延べ214名)】

日程	テーマ・講師	場所	参加数
6/28	認知症の方に寄り添う在宅医療と看護 つながりクリニック 竹島望 ナースであんしん 大慈めぐみ	藤沢市 本庁舎	62名
11/9	「まだ早い」と思った瞬間が始めどき わたしの人生最終章デザイン 藤沢善行ファミリークリニック 松木孝道	善行 市民 センター	79名
1/17	最期まで自分らしい生き方 ～知って安心！在宅医療～ 湘南台スマイルクリニック 田口篤	湘南台 市民 センター	73名

先月号でご報告した市民公開講座のクリニック名、講師名に誤りがありました。誠に申し分けありません。修正したものを再度載せていただきます。

研修会のご案内

知ろう、感じよう、考えよう「なぜACPが大切か」

日時:令和8年6月17日(水)19:00~20:30

場所:藤沢市医師会館 2階ホール

内容:現場で取り組んでいることの紹介

DNAR、AD、ACPの違いの説明
グループワーク他

市民公開講座のご案内

在宅医療って何をするの?どうするの?

～難病の父はこうして在宅医療へ～

日時:令和8年5月31日(日)10:00~11:30

場所:藤沢市役所 本庁舎5階 5-1、2会議室

講師:湘南藤沢心臓血管クリニック 安西 兼丈医師

在宅医療の現場から

藤沢デンタルクリニック
院長 鈴木 聡行

藤沢橋畔にある鈴木デンタルクリニックの鈴木聡行です。今回は、私が取り組んでいる歯科訪問診療についてお話しさせていただきます。

歯科訪問診療を始めたきっかけは、平成2年に立ち上がった神奈川県の委託事業「在宅寝たきり老人歯科診療事業」の委員になったからでした。委員になって初めて、「在宅寝たきり老人」、いわゆる要介護高齢者と出会い、その生活実態と口腔内に生じている様々な問題を知りました。

加齢や疾病、障害、認知症、後遺症などによる生活機能の低下は、歯科診療所への通院を困難にし、セルフケア不足を招いていました。その結果、口腔衛生状態の悪化や口腔機能の低下が進行してしまう現実を目の当たりにしました。当時、訪問先で目にした数々の悲惨な口腔内の状況は大きな衝撃で、今でも鮮明に記憶に残っています。

診療所での診療だけでは解決が難しい、在宅や施設で生活する要介護高齢者の口腔環境を改善し、維持するために、歯科訪問診療の重要性と必要性を強く認識しました。「この方々の口を守りたい」という思いで歯科訪問診療を続け、35年になります。

在宅療養における歯科の役割は、誤嚥性肺炎を防ぐための「感染源とならない口づくり」と、口腔機能を重視した「食べられる口づくり」だと考え、「口腔ケア」と「食支援」に注力をしてきました。痛みの軽減、歯肉出血の改善、口臭の軽減、そして、好物が食べられるようになったなど、改善を笑顔で語ってもらえることを励みに、その人らしい在宅療養生活の一助となれるように日々取り組んでいます。

歯科訪問診療を通じて、患者さんやご家族をはじめ、医師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなど多職種の皆さまと出会い、多くの学びをいただきました。ありがとうございます。患者さんが望む生き方や死生観に触れる中で、生活を支える医療・介護の力と、その頼もしさを実感しています。

今後も「口腔ケア」と「食支援」を通して、地域包括ケアを推進する一員として皆さまと協働し、「口から食べて笑顔で過ごす」高齢者が一人でも増えるよう、微力ながら尽力してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。